

JINDANI(土壤病原菌検出キット)取扱説明書

【診断原理】

この診断キットは植物に病気を引き起こす土壤病原菌を検出するために設計されています。異なるエピトープ(抗原決定部位)を認識する2種類の抗体を用いた診断方法で、検体に含まれる病原菌が検体パットに吸収され、コンジュゲートパッドに処理された抗体(金コロイド結合体)と抗原抗体複合体を形成し、毛細管現象により移動します。ニトロセルロース膜にあらかじめ分注された別の抗体と結合し、抗体-抗原-抗体のサンドイッチ構造を形成してラインが現れる「ワンステップイムノクロマトグラフィー法」による簡易診断キットです。

【診断キットの特長】

- ワンステップで迅速な土壤病原菌検査ができます。
- 10分以内に結果判定できます。
- 高価な機器は不要です。
- 保管・管理が容易です。

【キットの内容】 包装単位:1箱×6回用キット入り

同封品	数量
テストデバイス(個包装)	6袋
使い捨てスポット(テストデバイスに同封)	6個
使い捨てスプーン	6個
緩衝液(5ml/ボトル)	6個
取扱説明書	1部



【分析対象】 病原菌によって感染し変色した植物片または根域の土壤

見本品は Ralstonia キットです

【本診断キットの使い方】

裏面の使用手順を参照してください。

【使用上の注意】

- 本診断キットは植物病害の診断目的にのみ使用してください。
- 診断キットは湿気に非常に敏感なので、開封後10分以内に使用してください。
- 結果表示部分には触れないように注意してください。
- 検体ごとに別のスポットとスプーンを使用してください。
- 検査には付属の緩衝液のみを使用してください。
- 過剰な土壤サンプルを使用しないでください。偽陽性または偽陰性の結果につながる可能性があります。
- 検体による感染が疑われる場合は、使い捨ての手袋を使用し、使用後は手洗いを行ってください。
- 廃棄はビニール袋に入れて自治体の条例に従ってください。
- 包装袋が破れている場合、シールが破損している場合、または使用期限が切れている場合は使用しないでください。

【保管上の注意・使用期限】

- 室温(2~30°C)で保管してください。冷凍保存はしないでください。
- 冷蔵で保管した場合は、使用前に室温で15~30分放置して使用ください。
- 使用期限はテストデバイスの包装に記載しております。使用期限が過ぎたキットは使用しないでください。

【免責事項】

本製品の性能に起因するすべてのリスクは購入者が負担するものとします。販売者は、本製品の使用により生じる間接的、特別、または結果的損害について、一切の責任を負いません。

【お問い合わせ先】

販売者:科研製薬株式会社 特薬部
住所:東京都文京区本駒込2-28-8
電話:03-5977-5033
FAX:03-5977-5136
WEB:<https://www.kaken.co.jp/>

本診断キットに関する問い合わせは、電話または当社WEB
サイトの農薬・動物薬等に関するお問い合わせコーナーより
ご連絡ください。

【販売元】

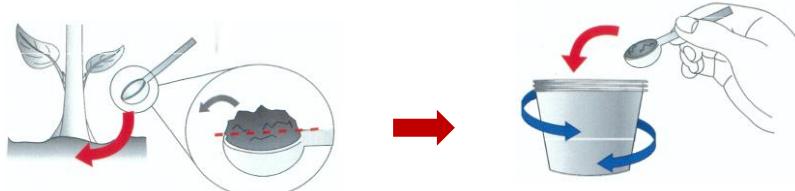
韓国 フーム韓農株式会社
(FarmHannong Co., Ltd.)

本キットは、韓国 ABC circle 社
が開発した診断キットです。

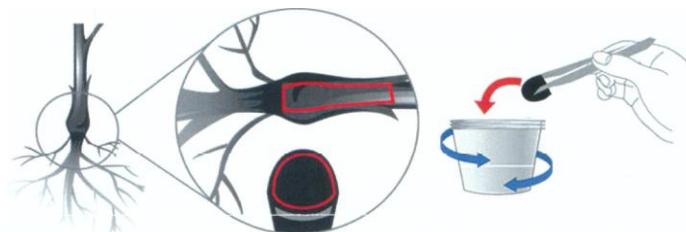
【診断キットの使用手順】

1. 検体の準備(①または②)

- ① 土壌の場合:表層を除去し、根周辺の土壌を付属のスプーンで採取し(1g)、緩衝液に入れて10秒以上振り、静置します。過剰な土壌採取は避けてください。



- ② 植物片の場合:変色した部分(0.5g)を削るか細かく刻み、緩衝液に入れて10秒以上振り、静置します。



2. 検液処理(①または②)

大きな粒子、植物片が緩衝液に沈殿するまで5分待ち、上澄み液のみを使用します。

付属のスポットで上澄み液を採取し、デバイスを平らな机等の上に置き、滴下部分に4滴(100 μ l)滴下します。
4滴以上の滴下はしないでください。



3. 判定

10分後に結果を確認する(それ以降の結果は無効)。

コントロールライン(C):土壌病原菌の抗原の有無に関係なく必ずラインが表示されます。表示されない場合は無効です。原因は緩衝液の純度が低いか、検体が不足している可能性があります。別のキットで再検査をしてください。



4. 結果の判定

陰性:コントロールライン(C)のみ表示される



陽性:テストライン(T)にも表示される



再検査:テストラインもコントロールラインも表示されない



テストラインのみ表示される



*使用済のキットは廃棄してください。